

# 平成22年度決算を報告します

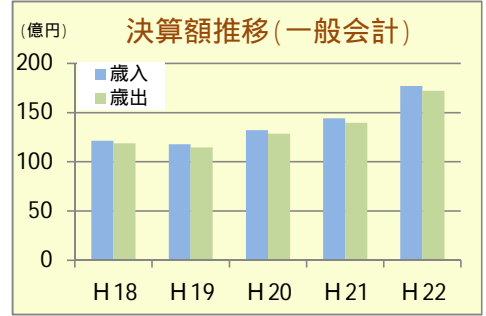
一般会計歳入決算額

177億1,224万5千円

一般会計歳出決算額

172億2,426万円

一般会計では、平成19年度から実施してきた小中学校の耐震改修事業がピークとなったことから、歳入歳出とも過去最大の決算額となりました。また、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支は4億8,798万5千円の黒字となり、この額から翌年へ繰り越した事業に必要な財源5,944万6千円を引いた実質収支は4億2,853万9千円の黒字となっています。



## 各会計の決算額

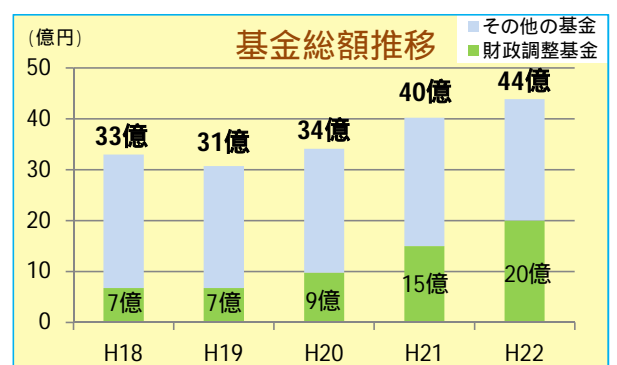
(単位:千円)

会計名	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 C = A - B	繰越すべき財源 D	実質収支 C - D
<b>一般会計</b> (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計)	17,712,245	17,224,260	487,985	59,446	428,539
<b>特別会計</b> (保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。)					
国民健康保険特別会計	3,070,354	3,068,314	2,040	0	2,040
老人保健特別会計	3,010	2,942	68	0	68
後期高齢者医療特別会計	286,833	286,704	129	0	129
産業団地整備事業特別会計	32	285,608	285,576	0	285,576
農業者労働災害共済特別会計	2,206	1,714	492	0	492
モーターボート競走特別会計	1,526,280	1,525,850	430	0	430
<b>企業会計</b> (一般の会社と同じように、独立の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)					
水道事業会計	収益的収支	757,612	747,346	10,266	
	資本的収支	115,560	384,745	269,185	
工業用水道事業会計	収益的収支	10,996	9,926	1,070	
	資本的収支	0	0	0	
公共下水道事業会計	収益的収支	1,002,990	980,105	22,885	
	資本的収支	865,551	1,237,320	371,769	
農業集落排水事業会計	収益的収支	50,810	49,323	1,487	
	資本的収支	10,436	25,690	15,254	

## Q. あわら市の貯金はいくらあるの？

**A.** あわら市には現在15種類の基金(貯金)があり、総額は43億8,679万5千円です。そのうち約半分を占めるのが市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。

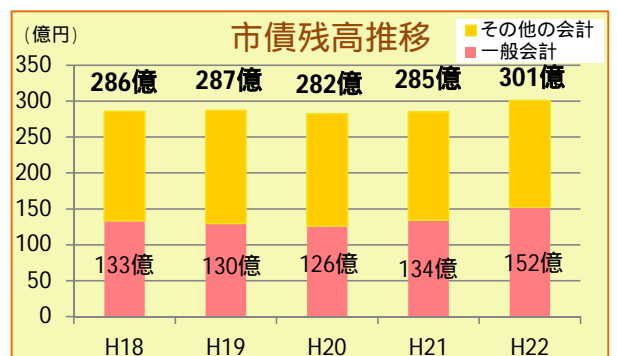
平成22年度は小中学校の耐震改修事業など大規模な事業を集中的に行ったにもかかわらず、国の経済対策交付金の活用や効率的な財政運営に努めた結果、5億100万円を積み立てることができました。



## Q. あわら市の借金はいくらあるの？

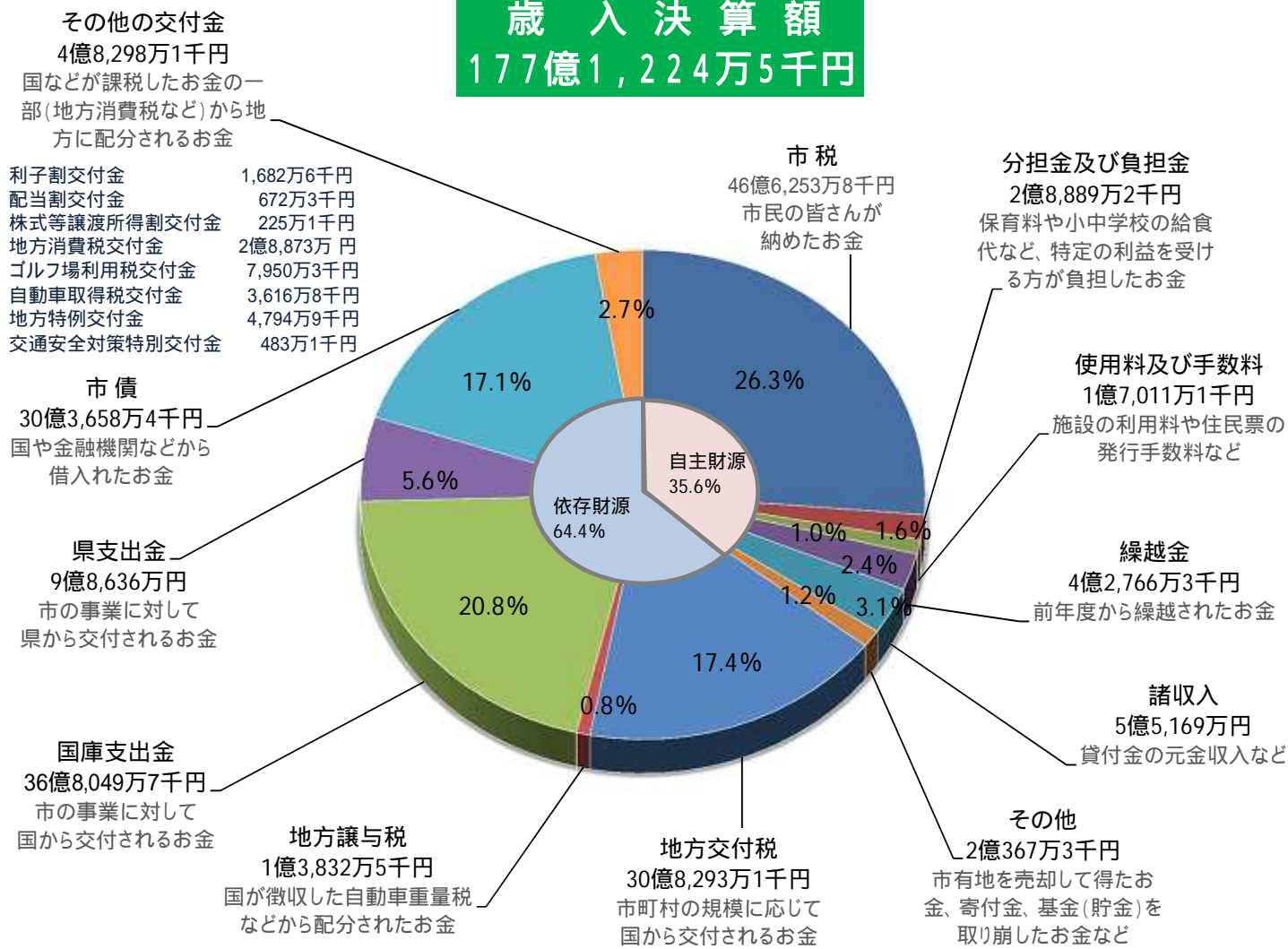
**A.** 平成22年度末で市債残高が大幅に増加している理由は、小中学校耐震改修工事(34億7,915万円)や臨時財政対策債(8億7,638万4千円)、坂井地区污泥再生処理センター建設事業負担金(2億730万円)などの大規模な借入があったためです。

このように、建設物や道路などで長期的な借金をする理由は、公共施設の新築や改修は大規模事業になることに加え、将来にわたって利用するため、その時の納税者だけで費用を負担するのではなく、各世代にわたって負担することにより公平を保つためです。

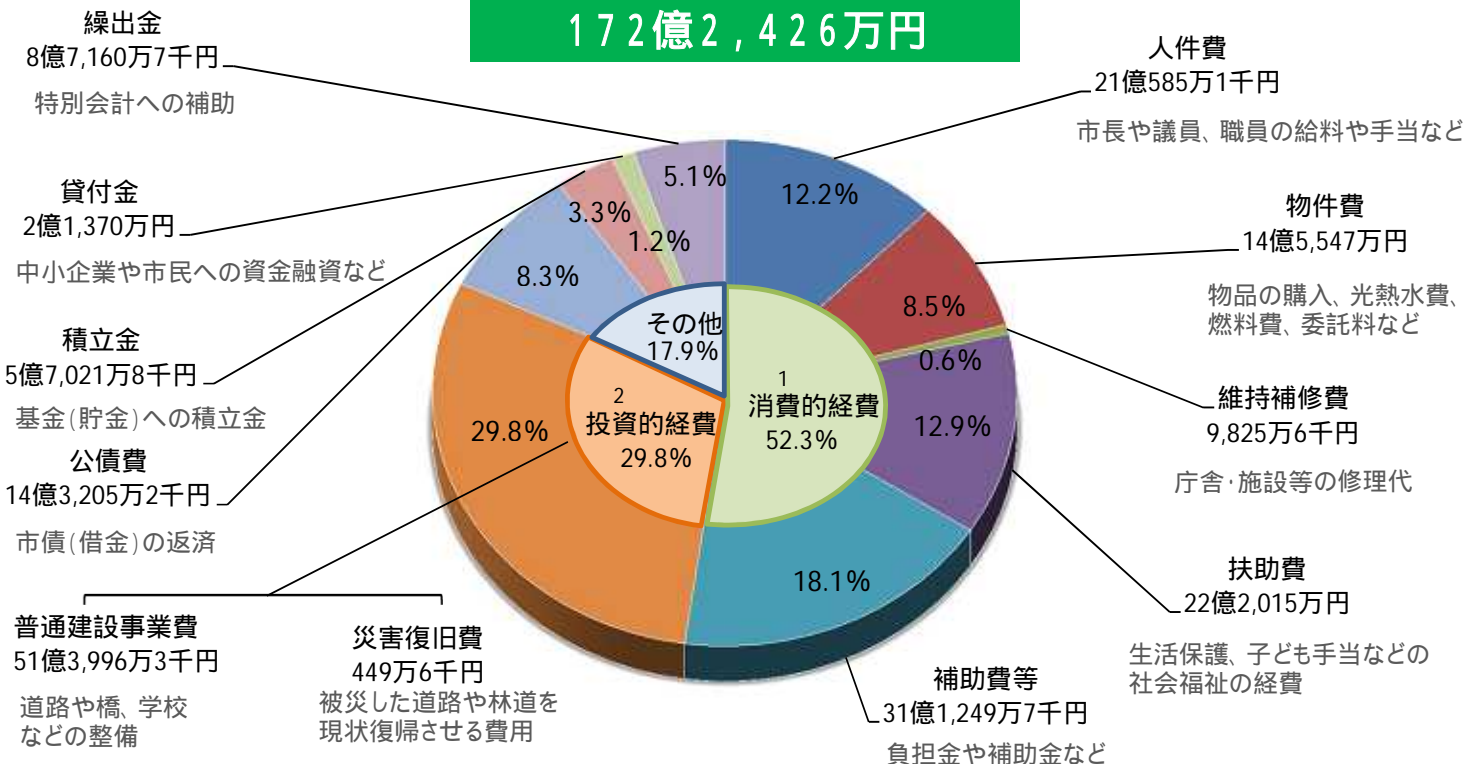


臨時財政対策債とは、本来、国が交付すべき地方交付税の不足分を補うために発行する地方債(借金)です。翌年度以降に返済のための財源が国から手当てされます。

# 歳入決算額 177億1,224万5千円



# 歳出決算額 (性質別) 172億2,426万円



1消費的経費 毎年固定的に必要な経費  
 2投資的経費 道路、公園学校などの整備に対する経費。普通建設事業費と災害復旧費からなっています。

# まちづくり(7つのゆう)でみる主な事業の決算額(一般会計)

## 優

地球と人と生き物が  
ともに生きる  
優しさあふれるまち

【環境保全】

坂井地区環境衛生組合負担金	3億4,273万5千円
汚泥再生処理センター建設に伴う負担金	
福井坂井地区広域市町村圏事務組合負担金	2億6,704万6千円
清掃センターや余熱館の運営管理などの負担金	
ごみ処理事業	1億1,883万1千円
家庭や商店などから出されるごみ処理にかかる委託料や資源回収奨励補助金など	



## 悠

生涯を通して  
健やかに生きる  
悠々元気のまち

【保健・福祉・社会保障】

子ども手当支給費	4億5,674万2千円
中学校修了前までの子ども一人につき月額13,000円を支給	
介護保険広域連合負担金	3億6,968万9千円
介護保険制度の事務を行う坂井地区介護保険広域連合への負担金	
障害者自立支援給付事業	3億5,724万2千円
障害者等の方々が自立した生活を営めるように障害福祉サービスを行う経費	



## 湧

多世代の学びいで  
生きる力が  
湧きでるまち

【ひとづくり、文化】

小中学校耐震改修事業	34億7,915万4千円
芦原、金津中学校と5つの小学校(芦原、金津、北潟、伊井、本荘)の耐震改修工事	
学校給食費	1億9,985万7千円
学校給食の提供や給食センター施設管理などにの経費	
公民館費	1億5,720万4千円
各公民館の運営や施設の管理経費	



## 結

生活・産業基盤の  
きずなを  
結び深めるまち

【生活基盤、情報、防災】

嶺北消防組合負担金	6億3,290万9千円
嶺北消防本部移転と通信指令システムの改修などに伴う負担金	
公共下水道事業会計負担金	4億6,240万6千円
雨水処理などにかかる経費を一般会計からも負担するための繰出金	
公営住宅ストック総合改善事業	1億1,679万8千円
市営住宅の耐震診断やバリアフリー化などの総合改修経費	



## 裕

にぎわいや活力の  
連携で裕福を  
生み出すまち

【産業】

企業立地助成金など	1億516万3千円
市内へ工場等を新設、移設又は増設する企業に対し、各種助成する制度	
緊急雇用創出事業	1億391万6千円
失業者に対して次の就業までのつなぎの雇用機会を創出・提供する事業	
中小企業振興資金預託金	1億円
融資対象となる市内中小企業者に対し、必要な資金融資を行うための制度	



## 遊

リラックスと創造が  
リンクする  
遊び心いっぱい  
のまち

【交流】

創作の森事業	7,601万2千円
施設管理委託料や補助金、施設修繕費など	
湯のまち駅前多目的広場整備事業	6,660万円
多機能施設棟建築工事や藤野巖九郎記念館移築の経費	
セントピアあわら経費	4,114万2千円
管理委託料や改修・補修などの経費	



## 融

多様な主体が  
融け合う  
ともに育むまち

【まちづくり、行財政】

市債元利償還金	14億3,205万2千円
国や金融機関から借入れた資金の返済額	
選挙費	2,775万9千円
参議院議員選挙、知事、農業委員会、土地改良区の選挙経費	
区長会経費	2,428万7千円
行政連絡員報酬、区長の活動事業や集会施設整備・掲示板設置の補助金など	



# 歳出を目的別でみた決算額と市民一人あたりの決算額

平成22年度決算では、教育費と民生費で全体の半分以上を占める結果となりました。

これは小中学校の耐震改修事業(教育費)、子ども手当の新設や複合福祉施設整備事業(民生費)などの大規模な事業があったためです。

歳出決算額(目的別) 172億2,426万円

市民一人当たりの

決算総額

570,282円

## 教育費

47億6,820万3千円  
(157,872円)

学校、公民館、体育施設など

## 民生費

42億9,707万9千円  
(142,273円)

保育所運営、障害者・高齢者対策など

## 公債費

14億3,205万2千円  
(47,414円)

市債(借金)の返済

## 土木費

14億2,945万5千円  
(47,328円)

道路、橋、公園、市営住宅などの整備や維持管理など

## 総務費

11億4,222万1千円  
(37,818円)

庁舎管理、戸籍や住民票の管理、防犯対策など

## 衛生費

10億811万7千円  
(33,378円)

環境衛生、ごみ処理、予防接種  
妊婦・乳児健診など

## 商工費

8億250万7千円  
(26,570円)

企業誘致、商工業の振興、  
観光推進など

## 消防費

7億1,505万6千円  
(23,675円)

消防施設災害対策など

## 農林水産費

7億438万9千円  
(23,322円)

農林水産業の振興や  
農道、排水施設の整備など

## 労働費

1億9,088万2千円  
(6,320円)

雇用対策、市民への生活資金  
融資など

## 議会費

1億5,934万6千円  
(5,276円)

議会の運営

## その他

5億7,495万3千円  
(19,036円)

基金(貯金)への積立金や  
災害復旧費など

( )は一人あたりの決算額。平成23年3月31日現在の住民基本台帳人口30,203人で計算しています。

## 健全化判断比率及び資金不足比率について

あわら市の平成22年度決算に基づく各指標は下の表のとおりですが、いずれの比率も基準以下となっており、実質公債費比率と将来負担比率については、数値が年々改善されています。比率が上昇してきている産業団地整備事業特別会計については、資金不足の解消のため未売却土地の早期売却に努めます。

あわら市は

基準をクリア

しています

### 健全化判断比率

区分	早期健全化基準	財政再生基準	H22	H21	H20	H19
実質赤字比率	13.65%	20.00%	-	-		
連結実質赤字比率	18.65%	35.00%	-	-		
実質公債費比率	25.0%	35.0%	13.5%	14.7%	15.5%	15.8%
将来負担比率	350.0%		97.6%	128.4%	146.7%	167.0%

実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、赤字額がないため「-」表示となります。  
市町村の早期健全化基準は、財政規模に応じて異なり、表中の基準はあわら市の基準です。

### 資金不足比率

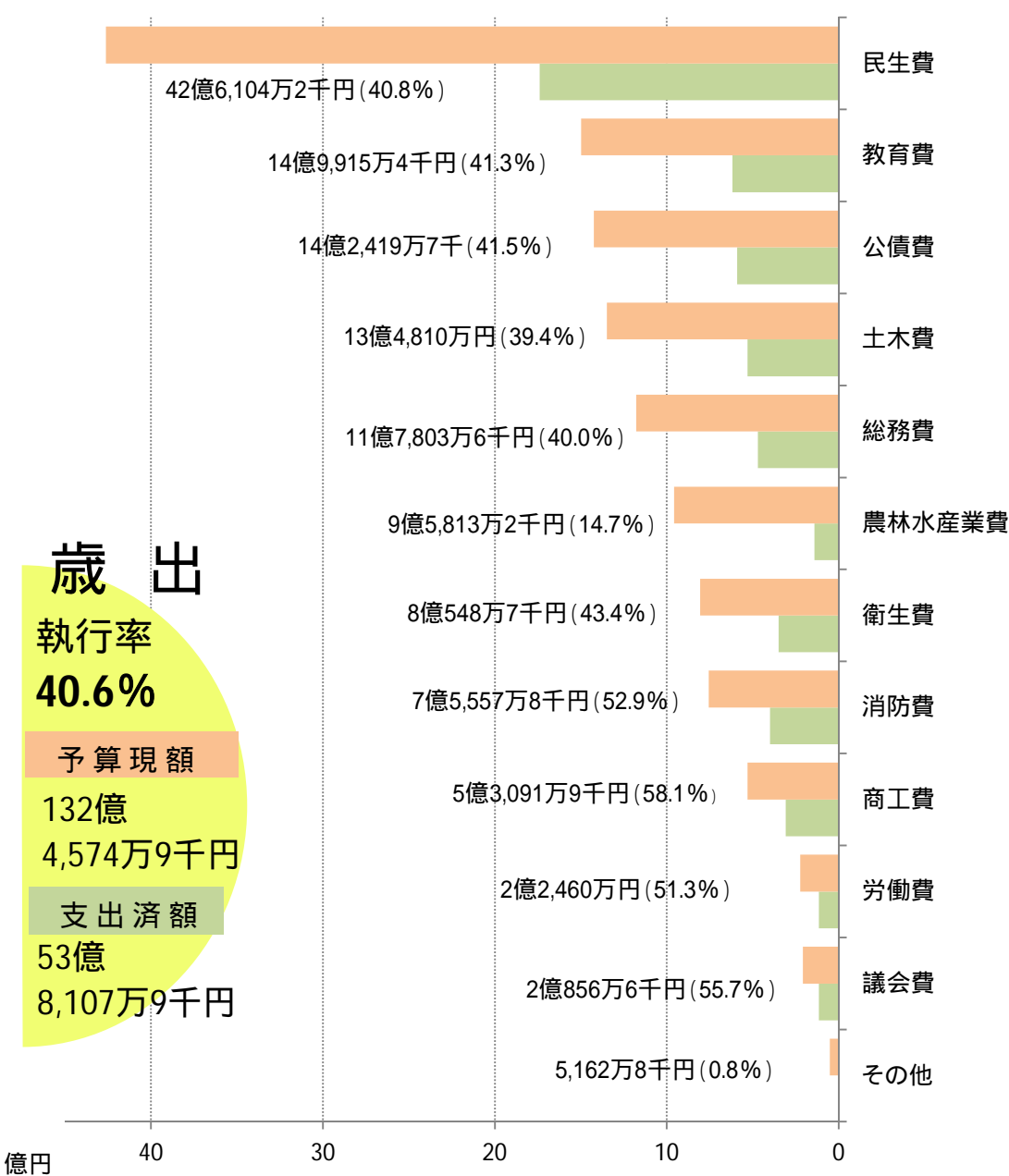
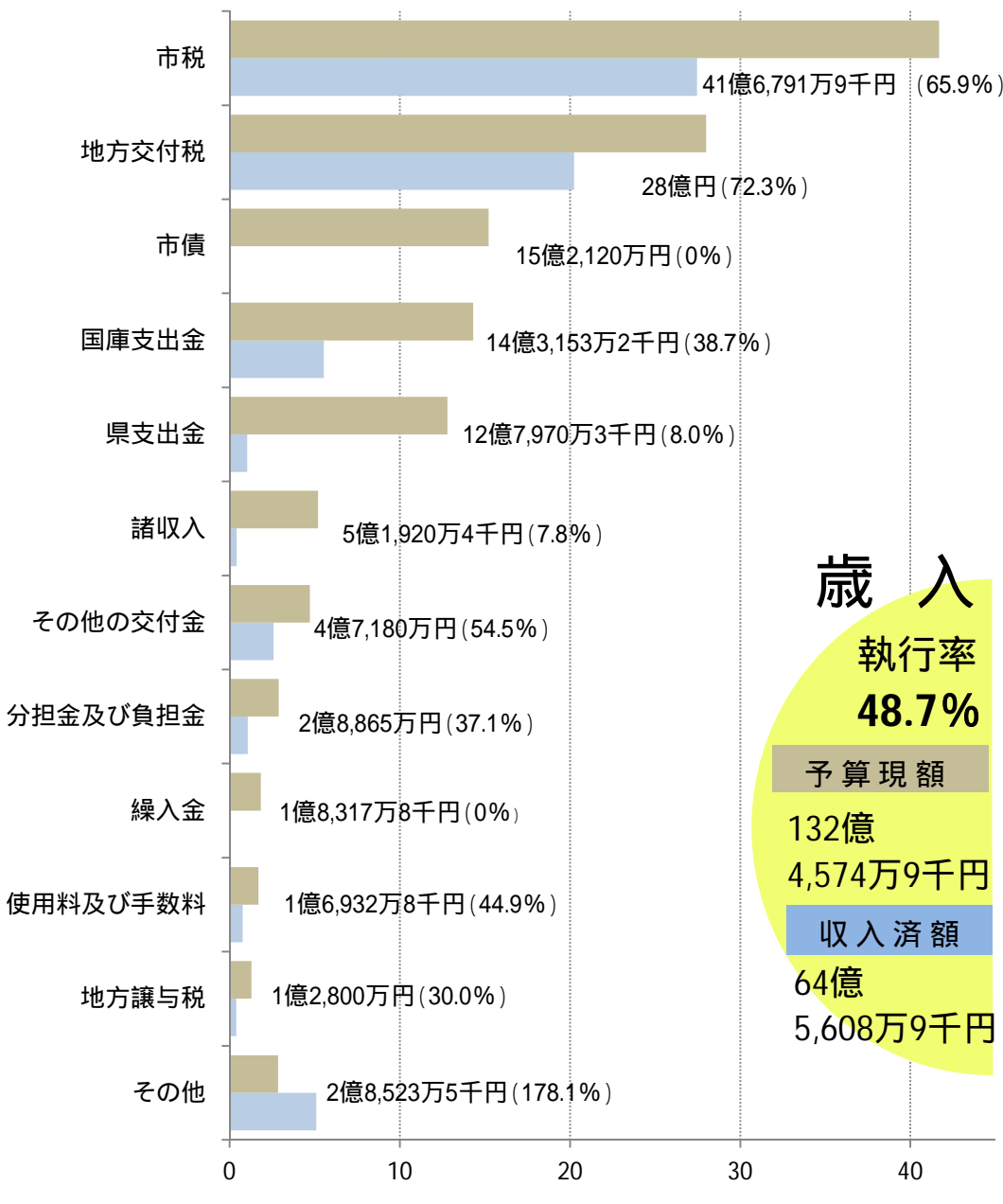
会計名	経営健全化基準	H22	H21	H20	H19
産業団地整備事業特別会計	20.0%	17.9%	12.5%	5.2%	

水道事業会計・工業用水道事業会計・公共下水道事業会計・農業集落排水事業会計は資金不足が発生していません。  
産業団地整備事業特別会計は平成20年度から設置した特別会計です。

# 平成23年度上半期の予算執行状況

## 一般会計歳入歳出予算執行状況 (平成23年9月末現在)

グラフの数値は予算現額、( )は執行率です。



予算現額には平成22年度からの繰越分を含んでいます。